



シラバス参照

講義名	生体機能調節学1	
講義開講時期	前期 1st Half	
基準単位数	1	
代表曜日		代表時限
コース等	48 生理科学コース	
授業を担当する教員	西田基宏、村上正晃、曾我部隆彰、長谷部理絵、西村明幸、山崎剛士	
成績評価区分 Grading Scale	A, B, C, Dの4段階評価 Four-grade evaluation	
レベル Level	Level 3	
力量 Competence	専門力 Academic expertise、独創性 Creativity	

担当教員

氏名
◎ 西田 基宏
村上 正晃
曾我部 隆彰
長谷部 理絵
西村 明幸
山崎 剛士

授業の概要	生体が恒常性を維持する上で重要な、心循環システム、免疫システム、摂食行動システム、感覚受容システムに関する基礎知識を8回の講義を通して学ぶ。
到達目標	<p>1) 心循環系の生理機能と病態生理について理解する。 2) 自己免疫疾患および神経免疫連関疾患について理解する。 3) 摂食行動を司る神経システムについて理解する。 4) 侵害刺激受容・温度受容および感覚受容について理解する。</p>
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・単位取得要件に半数以上の出席を必須とする。 ・講義のうち1つについてサマリーをレポートとして提出する。講義の担当教員が提出されたレポートを、講義の理解度に基づき採点する。 ・その判断に基づき科目責任者が合格または不合格の成績をつける。
授業計画	<p>2024年4月19日～7月19日 金曜日 10時～11時30分 (日程は変更されることがあるので、生理科学コースのページで確認してください。生理科学コースのウェブサイトのURLはこのシラバス内に記載があります。)</p> <p>4月19日 心臓の生理機能と病態生理 (担当: 西田) 4月26日 ミトコンドリア品質管理から読み解く心血管機能調節 (担当: 西村) 5月10日 自己免疫疾患の病態 (担当: 村上) 5月24日 神経免疫連関による生体機能調節と病態誘導 (担当: 長谷部) 6月7日 神経免疫連関による組織特異的炎症病態誘導 (担当: 山崎) 6月14日 摂食行動の神経メカニズム (担当: 中島) 7月5日 哺乳類における侵害刺激受容・温度受容の分子機構 (担当: 富永) 7月19日 ショウジョウバエにおける感覚機能の分子メカニズム (担当: 曾我部)</p>

実施場所	Zoomオンライン
使用言語	英語
教科書・参考図書	なし
他コース学生が履修する際の注意事項	特になし
関連URL	https://www.nips.ac.jp/graduate/curriculum.html
関連URLの説明	上記の生理科学コースのウェブサイトで最新のスケジュールをご確認ください。
備考	
講義に関する問い合わせ先	西田基宏 nishida@nips.ac.jp 西村明幸 aki@nips.ac.jp

[ウインドウを閉じる](#)